

**製品名: VRK3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19842**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	53kDa

**抗原情報**

遺伝子名	VRK3
別名	VRK3; Inactive serine/threonine-protein kinase VRK3; Serine/threonine-protein pseudokinase VRK3; Vaccinia-related kinase 3
遺伝子 ID	51231.0
SwissProt ID	Q8IV63
免疫原	ヒト VRK3 の内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

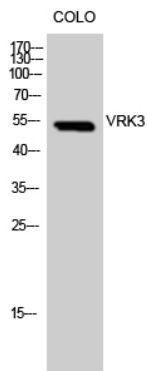
ワクシニア関連キナーゼ 3 (VRK3) ホモサピエンス この遺伝子は、セリン / スレオニンプロテインキナーゼのワクシニア関連キナー

ゼ (VRK) ファミリーのメンバーをコードしています。ヒトとマウスの両方において、この遺伝子は ATP 結合モチーフ内のいくつかの残基において置換を有しており、これらの残基は他のキナーゼにおいて触媒に必要であることが示されている。in vitro アッセイでは、このタンパク質はリン酸化活性を欠いていることが示されています。しかしながら、このタンパク質は基質結合能を保持していると考えられます。この遺伝子はヒトの組織で広く発現しており、そのタンパク質は核に局在します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物が生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: おそらくセリン / スレオニンキナーゼ。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。VRK サブファミリー。類似性:1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。,

## 研究分野

シグナル伝達; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; MAPK 経路

## 画像データ



VRK3 ポリクローナル抗体を用いた COLO 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。